

# 平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

プログラム名	女性の再チャレンジプログラム		
事業名	女性の再チャレンジプログラム 一歩上をゆくICTスキルアップ講座「VBAスキル習得講座」		
法人名	学校法人 片柳学園		
学校名	日本工学院専門学校		
代表者	理事長 片柳 鴻	担当者 連絡先	ITカレッジ情報学科 主任 石山 聡 03-3732-1111

## 1. 事業の概要

本事業では、子育て後の女性の社会復帰を後押しするために、オフィスで最も普及しているMicrosoft社の表計算ソフト「Excel」、データベースソフト「Access」で活用できる、簡単なプログラミング(マクロ/VBA)を身につけさせ、単純な作業を自動化し、効率よく仕事ができる「オフィスで重宝する、ワンランクアップしたスキルを持った人材」としてスムーズな再就職を支援することを目的とした講座を実施した。

講座実施にあたっては、対象者を「子育てが一段落した30～40代の女性」を中心として考え、「マクロによる自動化」を理解するための内容を強調したテキストを既存の教材をベースに再編集して使用した。

講座は平成21年2月に週末集中講座の形で実施した。実施時期の遅れから当初予定していた本校のPC教室が使えないことや、交通の利便性等を考慮して、会場は都内の一般のPC教室を利用した。

受講者は20～50代の女性で、申込者数はExcelVBA講座が19名(当日欠席3名)、AccessVBA講座が15名(当日欠席3名)であった。

なお、講座が終了したのが2月22日であり、3月13日現在具体的に就職できたという報告はないが、引き続き就職状況を追跡調査する予定である。また、全ての講座をビデオ録画しており、復習用、あるいは欠席した受講者にe-learningとして公開できるよう検討している。

## 2. 事業の評価に関する項目

### ①目的・重点事項の達成状況

本事業は女性の再チャレンジプログラムであり、対象者を「子育てが一段落した30～40代の女性」を中心として考え、「マクロによる自動化」を理解するための内容を強調したテキストを、既存の教材をベースに再編集して使用した。事業スタートの遅れからライターの再選定を行ったため、e-learning素材の事前収録をする時間が確保できず、テキストの解説を増やした結果ページ数が増えてしまった。

講座は平成21年2月に週末集中講座の形で実施した。本学校舎改築工事が進捗し、当該の時期に週末に利用できるパソコン教室がなかったこと、受講者の交通の便を考慮し、新宿にある一般のPC教室を借用した。

今回、スタートの遅れからオンデマンド型e-learningを在宅受講者や補完教育に活用することができなかったが、より多くの再チャレンジ女性に「学び直し」の機会を提供するために、講座を記録したビデオをe-learning素材として活用できるよう引き続き検討していくこととしている。

## ②事業により得られた成果

数年前であれば、WordやExcel、Accessは、基本操作をマスターすれば就職につながった。ところが、あらゆる業種・部門において業務の効率化が叫ばれる中、マクロ/VBAを使って作業を自動化し、効率良く仕事ができることが求められるようになっており、子育て等で職場を離れている女性にとっては復帰の際のハードルになっている。雇用する側が「VBAができる」ことを採用の条件とするケースも増えている。受講前のアンケートでも「独学では難しい」、「実践的に学びたい」という声が複数見られたことから、本事業では今回のような再チャレンジ女性向け就職支援講座を継続的に行っていく必要性を再認識した。

なお、就職については、全ての講座が終了したのが2月22日であり、3月13日現在具体的に就職できたという報告は受けていないが、Excelでは9割近い受講者が、Accessでは6割の受講者がそれぞれ「就職や雇用の継続に役立つ」と感じており、「雇用者の期待度が変わる」、「面接に役立つ(有利になる)」、「AccessとExcel双方でのデータ管理がアピールできる」というコメントから、再就職に対する手応えを感じてもらうことができたと考えている。

本事業の成果を広く紹介するため、全国専門学校情報教育協会の協力を得て、平成21年2月24日、25日に中野サンプラザ(東京都中野区)で開催された「専修学校フォーラム2009」(参加者242名)において成果発表を行った。

また、全国専門学校情報教育協会加盟校と本事業の成果報告会に参加された専門学校を合わせた221校に開発した教材等を配布し、普及に努めた。

## ③今後の活用

受講者から寄せられた意見を元に、テキスト以外に演習用の問題やサンプルデータを付加することや、講座のビデオを復習用、欠席時の補完用にe-learning等で整備することで、より多くの再チャレンジ女性に活用して頂けるコンテンツとして、本事業の成果の活用を検討していきたい。

## ④次年度以降における課題・展開

今回、スタートの遅れからオンデマンド型e-learningを在宅受講者や補完教育に活用することができなかったが、より多くの再チャレンジ女性に「学び直し」の機会を提供するために、講座を記録したビデオをe-learning素材として活用できるよう引き続き検討していく所存である。今後同様の取り組みを行う際は、迅速に教材が編集できること、あるいは未編集で活用できる題材をテーマにするなど、遅滞なく実施できるようにすることも今後の課題である。

本校が行う教育はITに特化したものが多く、得意分野となっている。今回取り組んだVBA入門のほかにも、本校の教育ノウハウを再復帰を望む女性や若者に活用できると考えている。時宜にかなった題材とテーマ設定、実施時期、募集期間の設定と募集方法、教育効果、教育方法等について、引き続き研究課題としていきたい。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①履修証明書等

本事業は資格取得などを目的としたものではないため、履修証明書は発行していない。

#### ②カリキュラムの内容

カリキュラムの概要は以下の通り。

Excel 2003 VBA 入門講座内容

##### 【概要】

「マクロとは何か？」を理解した上で、マクロの操作について学ぶ。自分でマクロをゼロから作ることは難しいが、簡単なマクロなら読んで意味が理解でき、Visual Basic Editorで編集ができる。繰り返し処理をするために必要な、条件分岐、ループなどを学ぶ。

##### 【内容】

1. マクロとは(作業を自動化するとは)
2. マクロを使ってみる(マクロの作成、記録、実行、保存)
3. Visual Basic Editor (VBE)とは (VBEの基本操作)
4. マクロの基本要素を理解する(基本構成と基本構文)
5. さまざまな方法でマクロを実行する(ボタン、ツールバー、ショートカットでの利用)
6. マクロの記録を使いこなす(記録の特徴と、わかりやすいマクロ)
7. 一歩進んだマクロを作成する(条件判断と繰り返しの処理)

Access 2003 VBA 入門講座内容

【概要】「データベースとは何か？」といった基本から、マクロ、VBAの基本的な文法を学ぶ。Accessに不慣れな方のために、Accessの一般機能を学び、簡単なマクロ、VBAについて学ぶ。繰り返し処理をするために必要な、条件分岐、ループなどを学ぶ。

##### 【内容】

1. データベースとは
2. Access2003の一般機能
3. マクロの基本
4. マクロの応用
5. VBAの基礎
6. Visual Basic Editor (VBE)の操作
7. 変数とデータ型
8. 制御構造  
条件判断と繰り返しの処理

受講者の募集は、本校校友会の協力を得て、卒業生のうち首都圏在住の女性1622名に対して講座案内を発送した。また、また、WordやExcelなどの検定試験を実施しているテストセンター、本校職員や講師に募集案内を配布し、口コミによる募集も合わせて行った。教材の編集が1月一杯にずれ込んだため募集期間が短かかったにもかかわらず、ExcelVBA講座に19名、AccessVBA講座に15名の申し込みがあった。

ExcelVBA講座、AccessVBA講座ともに、マクロ/VBAを使って作業を自動化するスキルを身につけ、「企業で重宝する人材」として、再チャレンジ女性の就職・職業定着率の向上をはかる内容となっている。

### ③講座の実施

#### (1)ExcelVBA入門講座

日 程:平成21年2月14日(土)・21日(土)

時 間:9:00～12:00、13:00～16:00 (全12時間)

会 場:富士通FOM株式会社 新宿会場

対象者:Excelの基本操作を理解している方で、より高度なスキルを身につけて就職・転職への自信を付けたい方  
業務効率を向上させることが、安定的・継続的な雇用につながると考えている、女性の方

参加者:16名(申込者19名、当日欠席3名)

受講料:無料

#### (2)AccessVBA入門講座

日 程:平成21年2月15日(日)・22日(日)

時 間:9:00～12:00、13:00～16:00 (全12時間)

会 場:富士通FOM株式会社 新宿会場

対象者:Accessの基本操作を理解している方で、より高度なスキルを身につけて就職・転職への自信を付けたい方  
業務効率を向上させることが、安定的・継続的な雇用につながると考えている、女性の方

参加者:12名(申込者15名、当日欠席3名)

受講料:無料

### ④支援対象者(受講者)の状況

アンケート結果から、理解度についてはExcel、Accessそれぞれ8割以上の受講者が「理解できた」と評価しているが、進度が揃わないことからくる理解不足、物足りなさを訴える意見があり、やはり、補完するためのe-learningコンテンツを用意するなど対応を検討する必要性が高いことがわかった。

講座終了後の就職については、講座が終了したのが2月22日であり、3月13日現在具体的に就職できたという受講者からの報告はないが、引き続き就職状況を追跡調査する予定である。